

カンボジア王国関係者が損保ジャパンを表敬訪問 ～オフィス家具寄付を通じた社会貢献活動～

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）は、NXグループの日本通運株式会社（代表取締役社長：竹添 進二郎）とNX商事株式会社（代表取締役社長：青木 進）の協力のもと、2023年にカンボジアの公共機関へオフィス家具を寄付[※]しました。この寄付に対して、2025年2月20日にカンボジア王国関係者が損保ジャパン本社ビル（東京都新宿区）を表敬訪問されたことをお知らせします。

※寄付に関するトピックス https://www.sompo-japan.co.jp/-/media/SJNK/files/topics/2023/20230920_2.pdf

1. 表敬訪問について

当日は、損保ジャパンの酒井香世子常務執行役員〔CHRO・CCuO〕が、カンボジア王国政府内閣副長官 SOM MONORUM 氏をはじめとするカンボジア王国官僚で構成された訪問団を迎え、歓迎の言葉を述べました。

SOM MONORUM 氏は、寄付されたオフィス家具に対する感謝の言葉を述べるとともに、「質の高い日本製の什器を使うことで、カンボジアのみんなの考え方ややりがいに影響を与えている」「座っているだけでも人と人とのコミュニケーションがよくなっていることを感じる」「部屋のレイアウトや環境を和風にしただけで日本人になったような気分になる」「日本人といえば働き者という有名な言葉があるが、日本人のように働かないと、という気持ちになる」「設備を使う度、戦後何もなかったときから日本が支援をしてくれたことが思い浮かぶ」と、寄付されたオフィス家具がもたらす効果について具体的な感想を述べられました。

さらに、SOM MONORUM 氏はカンボジアの社会状況について触れ、「最近カンボジア首相が社会福祉に力を入れることを宣言しており、保険の分野もこれから出てくるのではないか」「保険に関してはカンボジアの中ではそんなに広く知られていないので、すごくいいチャンスだ」と述べ、今後のカンボジアにおける社会福祉分野の発展と、それに伴う保険分野の成長の可能性について期待を表明されました。

<表敬訪問の様子>



最前列右側：SOM MONORUM 氏、左側：酒井香世子常務執行役員

2. 今後について

今後は、今回のカンボジアへの寄付事業を足掛かりに、多方面への SDGs への取組みを拡大し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

以上

